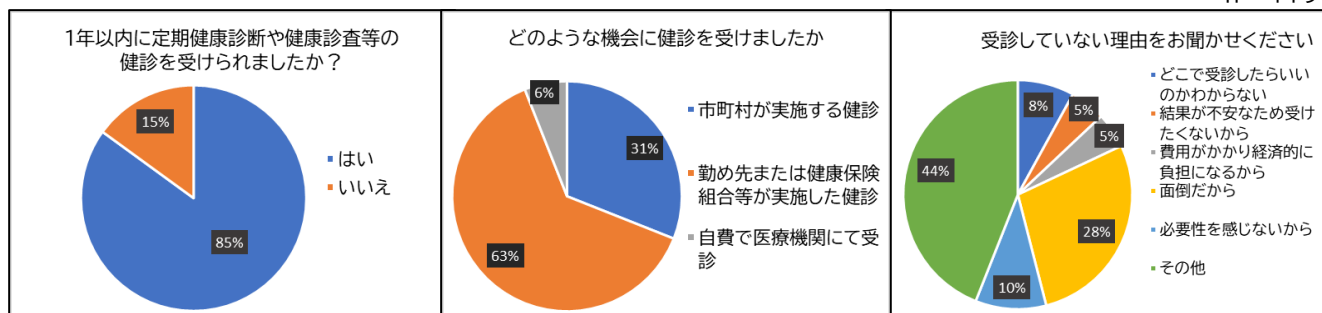


## 生活習慣病予防及び糖尿病重症化予防に向けた取組み方針（案）

<生活習慣病予防の取組みについて>

第一生命の協力のもと実施した健康づくりアンケートの集計結果（一部抜粋）

n = 419



- 勤め先で健診を受けている方が 6 割以上
- 受診していない理由としては「面倒だから」という理由が多く、その他の意見として、「時間がない」「かかりつけの医者に通っているから」といった意見あり。

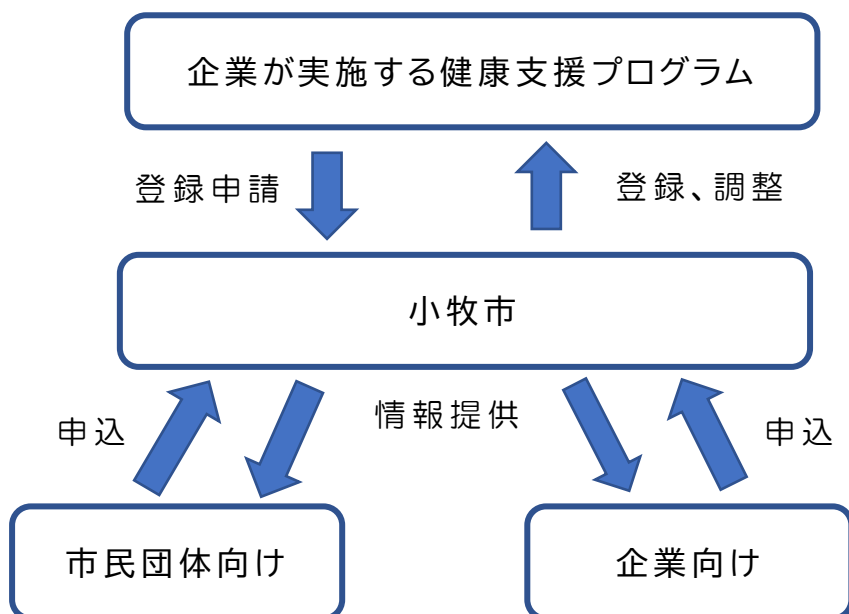


職場でできる健康づくりを推進していく必要がある

### 対策

市民及び職域における健康づくりを推進するため、企業等が実施している健康づくりプログラムを相互活用できるような仕組みについて検討中。  
市民対象に限らず、企業向けにも提供できるような仕組みを検討。

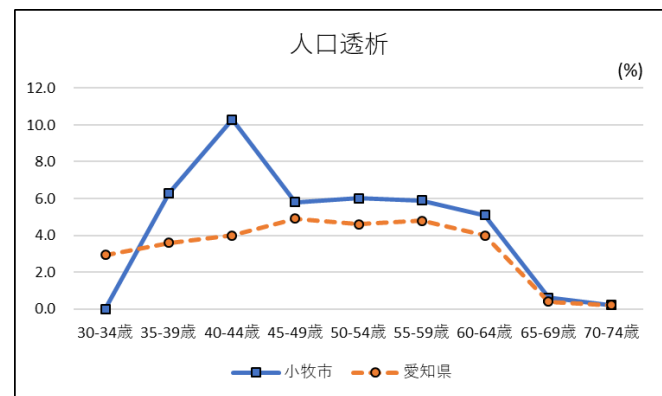
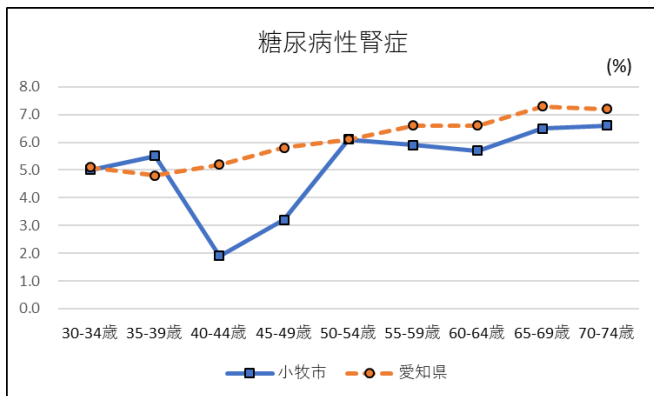
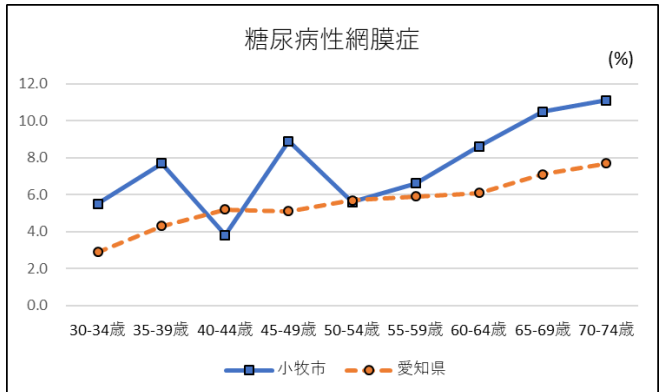
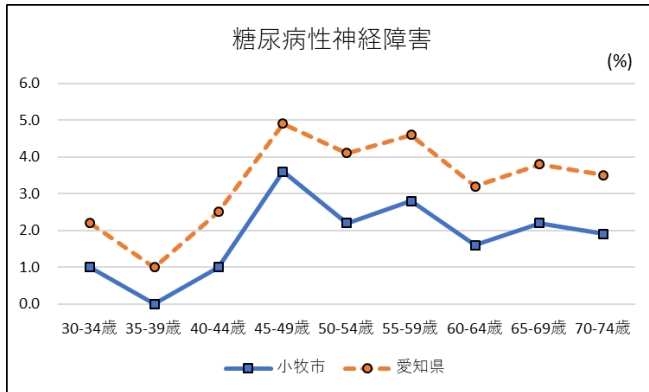
### 【健康づくりプログラムのイメージ】



※無料もしくは資材費の徴収のみであれば、市の出前講座として登録を行う

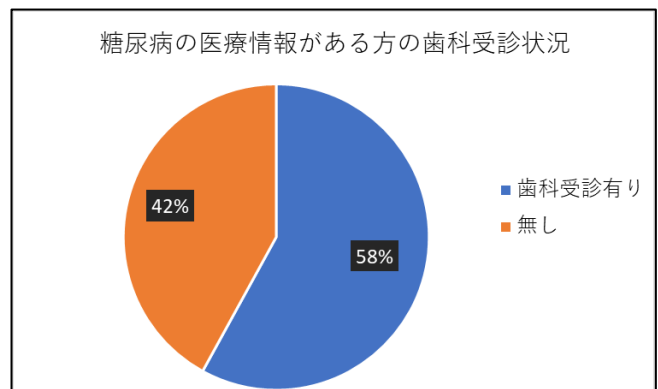
<糖尿病重症化予防について>

令和元年度に、糖尿病性疾患で医療を受診した国保被保険者および人工透析実施者のうち、糖尿病性疾患ごとの保有者及び人工透析実施者の占める割合は、年齢階級別でみると下表のとおりであった。



愛知県と比較すると、糖尿病性網膜症と人工透析の割合が小牧市において高くなっている。また、比較的若い世代からの人口透析が県と比較して割合が多くみられる。

また、令和元年度における医療費情報から、糖尿病の治療を受けている者の中で、歯科受診の有無を調べると、約4割の方が歯科医療を受けていない状況であった。



合併症の発症及び糖尿病の重症化を防ぐためにも、早期の眼科、歯科等への受診並びに必要なに応じて専門医への受診を促す必要がある

## 対策

- ① 糖尿病患者が自ら必要な医療機関を受診できるようなアプローチ、情報提供の仕組み
- ② 糖尿病連携手帳を活用するなど、医歯薬が連携できるような仕組みの構築

などが考えられる。



- ・糖尿病患者に対して、眼科、歯科等の受診勧奨などの個別アプローチ
- ・医科、歯科、薬において、糖尿病重症化予防のための周囲の支援としてどんなことが必要と感じているか、アンケート調査を行い、必要な支援を検討していく。